

平成 27 年度 学校人権教育課 主たる事業

1 職場体験事業

学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験を実施することで、「地域の子供は地域で育てる。」という機運を高めることを目的に、自分の将来の生き方や進路を模索しはじめる市内 7 中学校 15 学級の 2 年生を対象に、職場体験事業を実施した。市内 178 施設の協力、参加生徒 446 人であった。

2 学べる里海推進事業

地域の産業や環境保全などに関する授業を通じた里海学習を推進するため、市内 5 小学校で、里海について考える授業を実施した。

3 学校防災学習事業

南海トラフや様々な災害に対して志摩市内の学校の児童生徒の「自分の命は、自分で守る力」「安全な行動をとる能力」を身に着ける学習や地域とともに安全で安心なまちづくりを担っていくという意識を身につけるため、市内 3 小学校、1 中学校で、防災に関する授業を実施した。

4 夢の教室開催事業

子どもが社会性を育む場である外遊びが減ったこともあり、体力低下や運動不足を危惧する声の高まりや、いじめや不登校、自殺願望といった問題を食い止めることが求められていることから、「JFA ころのプロジェクト」を活用し、子どもの心身の健全な成長を促進するため、市内 1 小学校 5 年生を対象にサッカーの講演と実技指導を実施した。

5 幼稚園・小学校・中学校介助員配置事業

特別支援学級の対象園児、児童生徒や普通学級における要支援対象児童生徒を支援するため、幼稚園 11 人、小学校 31 人、中学校に 13 人の介助員を配置した。

6 小学校・中学校就学援助経費

小中学校に在籍する児童生徒で、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して学用品等の援助を行った。

また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対しては、特別支援教育就学奨励費の支給を行った。